

ドクターへリの安定的かつ持続的な発展のための決議

平成十三年の本格的運航開始以来、我が国のドクターへリは多くの国民の生命を守り実績を積み重ねてきた。本年四月、実質的な全国配備が完了し、あまねく必要な救命医療を提供出来る体制が実現した。

他方、ドクターへリの出動件数の増加に伴い運航経費が増大している他、特に、昨今のコロナ禍やロシアによるウクライナ侵略の影響により、人件費や機体価格等の高騰も懸念される。従前より関係各位の努力により改善が図られてきたが、現在の非常事態に対処するべく速やかな対応が不可欠である。

ドクターへリ事業の安定的かつ持続的な発展を通じてより多くの国民の生命を守り抜くため、以下の取り組みを求めるなどを決議する。

記

- 一 ドクターへリの出動件数・運航時間や、燃料費や機体価格等の必要経費を的確に把握し、適正かつ効率的な運航に見合うよう継続的に補助基準額を見直すこと。
- 二 突発的な不具合による代替機の提供や代替要員の確保に要する費用、事業に不可欠な訓練・空輸時間を運航時間に含めるなど、現場の実態を反映して補助基準額を設定すること。
- 三 現在、運航経費については、飛行時間に応じた補助基準額が設定されている。この間は新型コロナウイルスの流行により飛行時間の一時的な減少が考えられることから、運航の障害となることのないよう必要な配慮措置を検討すること。
- 四 引き続きドクターへリの広域連携を進めるとともに、広域連携に当たっては、地理的条件によつては他都道府県のドクターへリを優先的に要請できるよう、各都道府県に検討を促すこと。

令和四年六月六日

ドクターへリ推進議員連盟会長 尾辻秀久